

令和元年度  
岩手県立種市高等学校第2回学校評議員会記録

日 時： 令和2年2月26日（水）16:00～16:50

場 所： 本校会議室

出席者： <評議員> A氏（地域関係者） B氏（教育関係者） C氏（地域関係者）

D氏（地域関係者）

<学 校> 校長 副校長 事務長 総務主任 教務主任 生徒指導主事 保健主事  
海洋開発科主任 総務部員

以上13名

内 容： 1 開会

2 校長あいさつ

3 学校概況説明

(1) 令和元年度学校経営計画と評価について（副校長）

(2) 令和元年度学校評価アンケート結果について（副校長）

(3) 各分掌からの報告

ア 教務

・在籍異動・出欠状況・中学生体験入学実施状況について

イ 生徒指導

・部活動の主な大会結果について

・生活アンケート結果について

ウ 進路指導

・進路決定状況について

エ 保健厚生

・スクールカウンセラーの活用状況について

オ 海洋開発科

・海洋開発科に関する状況

4 質疑・応答、意見【評：評議員 ○：本校職員】

(1) 評： 学校評価の県への報告について、達成状況を○か×かの二択で評価するのは厳しいと思うが、全て×となるのであれば、達成目標の見直しが必要ではないか。

○： 達成状況が○となるように、目標を下げることもできなくはないが、県の目標、学校として「これくらいはできてほしい」、というところもあるので、その当たりの目標設定が難しい。

評： 学校評価アンケート結果で、「充実した学校生活を送っている」の項目で、「普通」という回答が気になる。「満足」の方に振れるように考えてほしい。

○： 「満足」「やや満足」の回答が増えるように、今後も努力する。

(2) 評： 海洋開発科の活動が、校外で行われるものが多いと感じた。

(3) 評： 本校を取材したテレビ番組を見たが、何か反響はあったか。

○： 特になし。

評： 全国でも放送されたか。

○： ローカル番組で県内での放送だが、後日、他県の系列局でも放送された。

ただ、放送時間が深夜帯であったりしたので、中学生が見られたかどうかは分からない。

評： 番組の作り方がいつも同じように感じる。別のアプローチの仕方はないか。

○： テレビ局の要望もあるので、それに添う形になるが、確かに別のアプローチもあるとよいと思う。

## 5 提言

A氏： 災害時の避難場所が、道の駅になっているのがよい。高所にあり安全である。

B氏： 生徒数が減少しているのは寂しい。一人一人を宝物として育て、学校生活の満足度を高める、自己肯定感を高めるように、一人一人を見守ってほしい。

C氏： 生徒数が減少する中で一人一人に目が届くので、生徒をしっかりと見守ってほしい。

D氏： 学校をどんどんアピールし、入学したいと思う生徒を増やしてほしい。生徒を見守ってほしい。

校長： 小さな学校で、生徒一人一人を大切に、ということは常々教員に話している。また、一人の生徒に多くの教員が関わりを持つように指導もしている。手をかけすぎて生徒がひ弱になっていないか、生徒が弱々しいことを助長していないか、というジレンマもある。出口が「社会」ということを見据えながら、生徒の指導をしていきたい。

入学者選抜の志願者数に関して。久慈地区で最も中学生の人数が減っているのは洋野町である。生徒数が減少している中でもさらに頑張っていく。

研修も行いながら、多方面の進路指導を充実させていく。

## 6 その他

## 7 閉会